

# クラスがもっとよくなるかかりの きめかたをかんがえよう！

小学校・1～3年生

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

「男の子らしさ」「女の子らしさ」より、「自分らしさ」をもって主体的に行動することで、よりよい集団形成につながるという意識をもち、積極的に集団に参加できるようにする。

◇関連する個別の人権課題「女性」

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりよい人間関係の形成）

### 3 人権教育上の視点

- （1） よりよい社会・集団づくりに主体的に参加・参画する態度を身に付けている。（価値・態度）
- （2） 日常生活で見過ごしていたり、当たり前のように感じたりしてしまいがちなことを疑問に思うことができる。（技能）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

設定場面の状況について説明を聞く。

#### ○活動2

各自が「クラスがもっとよくなるかかりのきめかた」を実施し、感じたことや考えたことを話し合う。

## 2 準備するもの

- 事前アンケート
- 事前アンケート結果
- ワークシート
- 「クラスがもっとよくなるかかきのきめかたをかんがえよう！」の掲示用イラスト（ワークシートのイラストの部分を拡大したもの）
- 振り返りシート

## 3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「クラスがもっとよくなるかかきのきめかたをかんがえよう！」
  - ① 活動の説明を聞く。
    - ・設定場面の状況について説明を聞く。
  - ② 教師の演技を見て、感じたことを話し合う。
  - ③ 実際に役割演技をする。
- 活動2 「振り返り」
  - ① 本時の学習を振り返り、自分のクラスで係を決めるとき、どうすればよいのかを考える。

## 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 誰もが安心して、主体的に参加・参画できる集団づくりへの関心が高まるよう、アクティビティーや日常生活の中で、自他のよさや可能性を生かそうとする児童の言動を認めることが大切である。
- 事前アンケート結果を導入で活用すると、アクティビティーへの意識を高めるのに有効である。
- 「男の子だから」「女の子だから」といった固定的な性別役割分担意識に基づいた意見が出やすいプログラムであるが、話し合いを深めるために、初めから否定せず、意見をたくさん出させるようにする。
- 係とは、「クラスをよりよく楽しくしていくものである」という前提条件をしっかりと押さえる。
- ワークシートでは、「かざり係を希望する男子児童」という設定になっているが、学級の実態に応じて変えてもよい。
- 活動の振り返りをするすることで、男女共同参画の視点に立ったよりよい集団形成への意識を高めていけるようにする。
- 実際に係活動決めをする際の実践として導入すると効果的である。

### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	1 事前アンケート結果の確認 T 事前にとったアンケートの結果を発表します。 C 手を挙げられなかったと答えている人は少ないね。 C でも、手を挙げられなかった人もいるんだな。	・アンケートの意図を簡潔に話す。 〈アンケートの意図〉 ・今までの経験を想起させ、自分自身の問題としてとらえられるようにする。
25分	2 学習内容の確認  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         クラスがもっとよくなるかかきのきめかたをかんがえよう！                     </div>	・係とは「クラスをよりよく楽しくしていくものである」ということについて話す。
	3 係活動決めの場面の状況説明 T 今からみなさんに、ワークシートを配ります。まずは、心の中で読んでみましょう。  4 教師による「2番・4番の児童」の役割演技 T これから2番さんの言葉を先生が読みます。 T 2番さんの言葉に対してどう思いましたか。 C ひどい。 C そんなことは言わない方がよい。 T 次に4番さんの言葉を読みます。 T どう思いましたか。 C 気にしなくてよいと思う。 C 自分もそう思うかもしれない。	・状況を説明しながら、黒板に拡大したワークシート（イラストの部分のみ）を掲示する。  ・自由に発言してもよいが、誰かを傷つけるような発言をしてはいけないことを押さえる。  ◎日常生活で見過ごしがちな固定的な性別役割分担意識でなく、個人として尊重される視点に気付けるように、「2番・4番の児童」の言葉を取り上げて、どう思うか問いかける。(技能)

	<p>5 児童による「3番の児童」の役割演技</p> <p>T 次はみなさんが、3番さんになってみましょう。</p> <p>T ワークシートに3番さんの気持ちを考えて書きましょう。</p> <p>T 3番さんになって、隣の人に気持ちを伝えてみましょう。</p> <p>C 1番さんは、折り紙が上手だから、ぴったりだと思ふな。</p> <p>C ぼくも折り紙が好きだから手を挙げようかな。</p> <p>※何人かに発表してもらってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3番の児童の役割演技をすることで、児童自身の気持ちを見つめられるようにする。</li> <li>・最後まで「1番の児童」がかざり係に入ることには否定的な意見があった場合は、なぜ男の子ではダメなのか理由を考えさせ、固定的な性別役割分担意識に気付かせる。</li> <li>・クラスの実態に応じて、全体交流の前にペアやグループ活動を入れてもよい。</li> </ul>
15分	<p>6 振り返り</p> <p>T これから私たちのクラスでも係を決めていきます。クラスがもっとよくなるための係は、どのように決めていくとよいのでしょうか。今日の学習を振り返って考えたことを振り返りシートに書きましょう。</p> <p>C 自分のやりたい係に手を挙げた方が、楽しく係の仕事ができると思う。</p> <p>C 人がやりたいと思っていることを認めることは大切。</p> <p>C 自分の好きなことを一生懸命にがんばる。</p>	<p>◎係活動を通して、性別に関わりなく個人として尊重され、あらゆる種類の活動に参加・参画できる集団の形成に向けて意欲を高められるよう、ねらいに沿った意見を取り上げ、称賛する。(価値・態度)</p>



## (3) ワークシート

## クラスがもっとよくなるかかりのきめかたをかんがえよう！

なまえ ( )

- ☆ 1くみでは、かかりをきめています。  
あそびがかり・まんががかり・かざりがかり・おたんじょうびがかり・しんぶんがかりなど、いろいろなかかりができました。
- ☆ 1ばんさんは、おりがみがすきな おとこの子 です。「かざりがかりにはいりたいなあ。」とおもっています。かざりがかりは、3人ですが、2人は おんなの子 にきまったようです。
- ☆ 1ばんさんは、かざりがかりに手をあげました。
- ◎ 3ばんさんのきもちをかんがえて、かきましょう。



# 当たり前ってどういうこと？

## ～仕事を性別から考える～

小学校・4～6年生

### I プログラムについて

#### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

「男だから」「女だから」というジェンダー（社会的に要求される役割などの社会的性差）にとらわれず、自分が将来就きたい職業や生き方を考え、社会を担っていく大切さを実感する。性別にとらわれることなく、自分の個性を大切にし、能力を伸ばそうとする意欲をもつ。

◇関連する個別の人権課題「女性」

#### 2 関連する教科等について

##### ○学級活動

内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

（ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成）

#### 3 人権教育上の視点

（1）自分の能力を生かしたり、思いや願いをもったりするなど、主体的に社会へ参加・参画する態度を身に付けている。（価値・態度）

（2）性別に関係なく、自分の能力を発揮することが大切であると感じることが出来る。（技能）

### II アクティビティーについて

#### 1 概要

##### ○活動1

ワークシート1を見て、それぞれの職業から、男女どちらを連想するかを考えた後、性別に左右されることなく、思いや願いをもって人々が夢を叶えて働いていること、自分も夢を叶えるのに性別は関係ないことを知る。

##### ○活動2

学習したことを踏まえ、ワークシート2を見て、将来の夢を大切にしたいAさん、Bさんの台詞を考える。本日の学習で学んだことをまとめる。

## 2 準備するもの

- 様々な職業についている人々の写真
- ワークシート1、2

## 3 アクティビティーの進め方

### ○活動1 「女性？男性？」

- ① ワークシート1を見て、それぞれの職業から男女どちらを連想するかを考え、記入する。どちらを連想したか、発表し合い、クラス全体で共有する。
- ② 連想から外れた、又は少数と考えられる性別の人がその職業には就けないのか、就いていないのかを考える。
- ③ 様々な職業に就いている人々の写真を見て、性別にとらわれることなく思いや願いをもって人々が働いていること、自分も夢を叶えるのに性別は関係ないことを知る。

### ○活動2 「こんなとき、どう言う？」

- ① 学習したことを踏まえ、ワークシート2を見て、設定された場面1のAさん（女子）、場面2のBさん（男子）の台詞を考える。親から夢を反対される2人が、大切な将来の夢のために何と言ったらいいかについて、個人で考えた後、ペア・クラス全体で共有する。

### ○活動3 「振り返り」

- ① 学習を通して、気付いたことや考えたことをまとめる。

## 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- よりよい社会の実現を目指し、積極的に社会へ参加・参画する意識を高めさせる。そのためには、日常生活で見過ごしていたり、当たり前のように感じていたりすることに疑問をもつような児童の感受性を大切にしたい。
- 「こんなとき、どう言う？」の台詞を考える場面では、自分自身のこととしてとらえるために、基本的に男子は男子の台詞を、女子は女子の台詞を考えさせていくが、希望する台詞を考えさせていくのでもよい。どちらであっても、男女関係なくAさん、Bさんの気持ちを大事にして台詞を考えさせたい。
- 将来の生き方や目標を考えるなど、キャリア教育の一環として行うこともできるアクティビティーである。



### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
3分	<p>1 ワークシート1「女性？男性？」 T 次の仕事の名前を聞いて、思い浮かぶのは女性と男性どちらですか。ワークシートに書きましょう。 C パイロットは男の人だな。 C 幼稚園の先生は女の人かな。</p>	<p>・瞬時に連想させたいが、どちらとも言えない場合もあると思われる。その場合は両方を選んでよいことを伝える。</p>
30分	<p>2 学習内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>当たり前ってどういうこと？ ～仕事を性別から考える～</p> </div> <p>3 ワークシート1に基づいた意見交流 T それぞれの職業についてどちらを思い浮かべたのか、理由と一緒に発表してください。 C ○○の仕事は、女性にしたよ。ぼくの知り合いの人が勤めているから。 C 両方だ。テレビで見たことがある。 T あまりその職業にイメージのない性別の人は、その仕事には就いていないのでしょうか。その仕事はできないのでしょうか。 C どっちがやってもいいと思う。 C この職業は絶対男性（女性）がやった方がいいよ。 T みんなの職業のイメージがどちらかの性別に偏りがちのものもあるようでしたが、どの職業も性別に関係なく就くことができます。 C 驚いた！ 女性のパイロットっているんだ。 C 化粧品販売員って男の人もあるんだ。</p>	<p>・自分の意見と異なる意見を否定しないことを約束する。 ◎自分の能力を生かして職業を選択できることがつかめるよう、児童の職業のイメージについて考えた理由を聞き、肯定的な声掛けをする。(技能)</p> <p>・ワークシートの結果から性別が偏る職業を取り上げ、他方の性別の人は、その仕事ができないのか投げかける。</p> <p>・性別に関係なく職業を選択できることを伝える。 ◎自分の能力を生かしたり、思いや願いをもったりして職業を選択できることに気付けるよう、実際にその職業に就いている人の写真を提示する。(価値・態度)</p>

	<p>C よかった。どの仕事に就いても大丈夫なんだね。</p> <p>4 ワークシート2「こんなとき、どう言う？」</p> <p>T 場面1、場面2の夢を叶えたいAさんとBさんの台詞を、1人で考えてみましょう。</p> <p>T 次に、Aさんの台詞を考えた人同士、Bさんの台詞を考えた人同士で台詞を聞き合ひましょう。4人程度のグループになって、グループで一つの言い方にまとめて発表してください。</p> <p>C 男女関係なく、私は、自分の好きな仕事に就きたい。</p> <p>C 幼い頃からの夢だし、夢を実現するために一生懸命に勉強してきたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女関係なく、自分の希望する職業に就けることを踏まえて、AさんとBさんの気持ちを大切にした台詞を考えさせる。</li> <li>・自分自身のこととしてとらえるために、基本的に男子は男子の台詞を、女子は女子の台詞を考えさせてもよいが、希望する台詞を考えさせるのもよい。</li> </ul> <p>◎性別に関係なく自分の能力を発揮することが大切であるという意見を称賛する。(技能)</p>
<p>12分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>T 今日の授業で学んだことや感想を書きましょう。</p> <p>C 男女関係なくどの職業に就いてもいいことがよくわかった。なりたい職業があるので、安心して、勉強していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに書かせる。ねらいに沿った感想を書いている児童に発表してもらい、学級全体で共有できるようにする。</li> </ul>

## IV 資料

### (1) 様々な仕事についている人々の写真

【医師】



【保育士】



【弁護士】



【パティシエ】



(2) ワークシート1

じょせい      だんせい  
**女性？ 男性？**

年 組 番 (                      )

☆1 次のしよく業名（仕事をする人や仕事の名）を聞いて、女性、男性のどちらが思いうかびますか。思いうかぶ方に○を付けましょう。  
 どうしてもまよってしまったら、両方に○を付けましょう。

パイロット 男・女	べんご士 男・女	かんごし 男・女	バスガイド 男・女
大工 男・女	消ぼう士 男・女	ファッション モデル 男・女	植木屋 男・女
美ようし 男・女	花屋 男・女	車の整び士 男・女	医者 男・女
ケーキ屋 男・女	ほ育士 男・女	りようし 男・女	トラック運転手 男・女
板前 男・女	美よう部員(化しよ うを教える人) 男・女	ようち園の先生 男・女	ほけんの先生 男・女

## (3) ワークシート2

## こんなとき、どう言う？

年 組 番 ( )

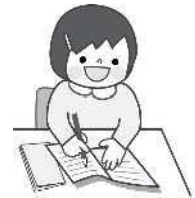
☆2 次の二つの場面で、あなたがしょう来のゆめを大切にしたいAさん、Bさんだったら、なんと言いますか。今日の学習を生かして考えましょう。

## 場面1

Aさん 「わたしのしょう来のゆめは、医者になることだよ。大学に進学する必要があるから、勉強をがんばって大学に行きたいんだ。」

Aさんの親「お兄ちゃんは大学に行ったけれど、あなたは、女の子なんだから、大学に行かなくていい。医者になんかならなくていいんだよ。」

Aさん 「.....



## 場面2

Bさん 「ぼくのしょう来のゆめは、ようち園の先生になることなんだ。」

Bさんの親「ようち園の先生は、女の子がなる仕事だよ。」

Bさん 「.....



☆3 今日の授業で学んだことや感想を書きましょう。

.....

.....

.....

.....

## V 出典・参考資料

- 「人権教育学習プログラム一事例集一」（平成19年3月）和歌山県教育委員会
- 教師用指導資料「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」（平成19年3月）兵庫県教育委員会 一部改変

# 安心クラスをつくろう

中学校・1年生

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

事例上のクラスでのいじめ問題に対する解決方法を考え、話し合う活動を通して、よりよい集団の実現を目指して他者と連携し、積極的に集団に参加・参画していけるようにする。

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2）日常への生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の尊重）

### 3 人権教育上の視点

- （1）よりよい集団づくりに、主体的に参加・参画する態度を身に付けている。（価値・態度）
- （2）日常生活の中から、よりよい集団づくりにつながる課題に自ら気付くことができる。（技能）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

ワークシート1を読み、この事例のクラスの問題点を個人でできるだけ多く見付けて、ワークシート2に記入する。

#### ○活動2

個人で見付けた問題点をグループ（3～4人）で出し合い、その解決方法について、事例の登場人物ごとにどうすればよいかを話し合う。

#### ○活動3

本時の学習を振り返り、自分たちの学級をよりよい集団にするために、自分たちの学級の課題について考える。

## 2 準備するもの

- ワークシート1、2

## 3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「安心クラスについて考えよう」

- ① ワークシート1の場面設定を読む。
- ② 個人で、この事例のクラスの問題点を見付け、ワークシート2に記入する。
- ③ 見付けた問題点を発表する。

- 活動2 「私のクラスは安心クラス？」

- ① この事例のクラスを「安心クラス」にするためには、どんな解決策があるか、グループ（3～4人）で話し合う。
- ② それぞれの登場人物がどう行動すればよいか、話し合ったことを発表し、学級全体で共有する。

- 活動3 「振り返り」

- ① 本時の学習を振り返り、自分たちの学級をよりよい学級にするために、積極的に関わっていききたい学級の課題について考える。

## 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 事例のクラスでのいじめの解決方法について考え、話し合うことで、いじめ問題への関心を高めることにとどまらず、自分のクラスの課題にも目を向け、よりよい集団づくりに主体的に参加・参画する意欲を高める契機にする。
- いじめの問題点を具体的にとらえるために、まず事例中の登場人物ごとに問題点を考えさせるが、個人の問題点としてのみとらえることがないように留意して、集団としての問題点にも目を向けさせ、よりよい集団づくりとは何かについて考えさせるようにする。
- 学級の実態に応じて、トラブルの場面や内容を設定してもよい。
- 例えば、新しい学級に慣れてきた5月の連休後や、大きな学校行事の前に生徒一人一人の積極的な関わりを意識させたいときなどに実施すると効果的である。



### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
10分	<p>1 アイスブレイキング</p> <p>T グループ(3~4人)になり、全員の共通点をできるだけ多く見付け、書き出しましょう。</p> <p>T それぞれ見付けた共通点や感想を各グループで発表しましょう。</p> <p>S 好きな芸能人が同じ。</p> <p>S 登下校の方向が同じ。</p> <p>S パンが好き。</p> <p>S 意外に共通点があった。</p> <p>S ○君も同じ芸能人が好きということを知った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通点が見付からずに戸惑っているグループがあれば、そのグループの共通点を、例として一つ示す。</li> <li>・共通点があると親近感をもつようになることに気付かせるとともに、共通していない点にも意識させ、違いを尊重し合うことの大切さを考えさせる。</li> </ul>
35分	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     安心クラスをつくろう                 </div> <p>2 課題の設定</p> <p>T ワークシート1を読んで、この事例のクラスの問題点を見付けましょう。</p> <p>T この事例のクラスの問題点は何ですか。</p> <p>S Cさんに対して、誰も何も言えない。</p> <p>S 一緒にいたBさんは、逃げてしまう。</p> <p>S Dさん、Eさんは、見ているだけ。</p> <p>S Fさんの声掛けに対するAさんの返答も問題。</p> <p>S こんなことがまかり通る人間関係、雰囲気だめ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に自由に考えさせ、できるだけ多くの問題点を見付けさせる。</li> <li>◎事例の中から、いじめ問題に具体的に気付くことができるように、まず事例の中の登場人物ごとに問題点を考えるよう助言する。(技能)</li> <li>・登場人物個人の問題点としてのみとらえないように留意し、集団としての問題点はないかという視点も示唆する。</li> </ul>

	<p>3 話し合い</p> <p>T この事例のクラスを安心クラスにするためにはどんな解決策があるかを、グループ（3～4人）になって話し合ってみましょう。</p> <p>T 登場人物がそれぞれどう行動すればよいか、グループで話し合ったことを発表してください。</p> <p>S Aさんは、助けが必要だということを素直に伝える。</p> <p>S Bさんは、その場から逃げずに、Aさんを助ける。</p> <p>S Cさんを止める。1人では止められなくても、みんなで声を出す。</p> <p>S どういう行為がいじめなのか、学級会で議題として話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心して過ごせる、全ての人が居心地がよいという点を意識するよう促す。</li> <li>・それぞれの登場人物がどう行動すべきか考えさせる。</li> </ul> <p>◎この事例のクラスの問題点について、解決方法を主体的に考えるために、もし自分がこのクラスの一員だったらどう行動するかと問いかける。（価値・態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A～Cさん個々の行動改善だけでなく、D～Eさんも含めて、クラス集団としての改善の視点も示唆する。</li> </ul>
<p>5分</p>	<p>4 振り返り</p> <p>T 今日の学習を通して、気付いたことや感じたこと、自分たちのクラスをよりよいクラスにするために、自分がしていきたいことを書きましょう。</p> <p>S いじめは絶対にだめ。</p> <p>S 解決方法を考えるだけでなく、実際に行動しないと何も変わらない。</p> <p>S みんなでよいクラスをつくっていききたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学級の課題に目を向けさせ、解決方法を考えさせる。</li> <li>・ねらいに沿った内容を書いている生徒の感想を発表し、学級全体で共有できるようにする。</li> </ul>

## IV 資料

## (1) ワークシート1

## 安心クラスについて考えよう

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

これから紹介する場面を通して、誰もが安心できるクラスにするためには、どうしたらよいか考えてみましょう。

ある日の昼休みのことです。AさんとBさんが話をしているところにCさんが来ました。

Aさん：「見て見て、これ昨日買ったんだ！」

新しく買ったボールペンを見せる。

Bさん：「おー、これ今流行ってる有名なボールペンじゃん！ どこで買ったの？」

Cさん：「(Aさんの肩をたたいて) お前たち、何の話をしてんの？」

Aさん：「(痛っ!) えーと、昨日買ったこのボールペンのこと。」

Cさん：「おー、今流行ってるやつじゃん！ これ欲しかったんだよな～。やっぱかっこいいよな～。ちょっと貸せよ！」

CさんがAさんから乱暴にボールペンを取る。

Aさんは弱々しく笑っています。

Cさん：「ということは、こっちの古くなったボールペンはいらないよな？」

Aさんの筆箱から、古いほうのボールペンを勝手に取る。

その様子を見ていたDさんとEさんは、小さな声で「なんでAさん、断らないんだろうね。」と話しています。

Cさん：「おい、Bも欲しかったら、他の持っていけよ。」

Bさん：「……。」

Bさんは迷惑そうに顔を上げ、違う友達のところに行きました。

Cさん：「ちえっ、なんだよ。いらないのかよ。」

そう言って、CさんはAさんの古いボールペンを持って、どこかへ行ってしまいました。DさんとEさんは、何事もなかったかのように2人で別の話を始めました。

この様子を見ていたFさんは、Aさんがかわいそうになり、Aさんに声をかけました。

Fさん：「Aさん、大丈夫？」

Aさん：「別に。あれ、ちょうど捨てようと思ってたやつだし……。」

Aさんはそう答えました。

## (2) ワークシート2

**私のクラスは安心クラス？**

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

- 1 この場面の問題点は何だと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

- 2 このクラスを誰もが安心できるクラスにするためには、それぞれ登場人物はどうすればよいと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

- 3 今日の学習を通して、気付いたことや考えたことを書きましょう。また、自分たちのクラスの課題や、今後、クラスをよりよくするために自分が意識して行動しようと思うことを書きましょう。

# 尊重し合う社会をつくるために

## ～デートDVの理解から～

高等学校・1～2年生

### I プログラムについて

#### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「参加・参画」）

＝【人権感覚育成のための視点】

ロールプレイや話し合い活動を通して、お互いを尊重することの重要性を認識し、他者と連携・連帯し積極的に社会に参加・参画していけるようにする。

◇関連する個別の人権課題「女性」

#### 2 関連する教科等について

##### ○ホームルーム活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ 男女相互の理解と協力）

#### 3 人権教育上の視点

（1） よりよい社会、集団の形成に向けて、主体的に参加・参画しようとする  
ことができる。（価値・態度）

### II アクティビティーについて

#### 1 概要

##### ○活動1

ペアでロールプレイを行い、感想を発表する。

##### ○活動2

ロールプレイを行った内容に関する課題について考え、発表する。

##### ○活動3

活動2で考えた課題にどのように対応するべきかを考え、発表する。

##### ○活動4

本時の学習を通して感じたことや考えたことをまとめる。

## 2 準備するもの

- ワークシート

## 3 アクティビティの進め方

- 活動1 「ロールプレイ①」
  - ① ペアでワークシートの課題1のロールプレイを行う。
  - ② 感想を話し合い、全体発表で共有する。
- 活動2 「ロールプレイ②」
  - ① ペアでワークシートの課題2のロールプレイを行う。
  - ② 感想を話し合い、全体発表で共有する。
- 活動3 「ロールプレイのまとめ」
  - ① 課題2の会話文の問題点を探す。
  - ② 課題2のA・Bの発言について、感想を発表する。
- 活動4 「ペアでの話し合い」
  - ① ペアで課題2の会話の望ましいあり方を考える。
  - ② 全体発表で共有する。
- 活動5 「振り返り」
  - ① 振り返りを通して、普段のお互いを尊重した言動について考える。

## 4 アクティビティを指導する際のポイント

- お互いを尊重する言動を心がけることは、よりよい社会や集団づくりへ主体的に参加・参画することにつながることを、学習者が実感することができるテーマである。そうした趣旨に沿う生徒の発言等を積極的に取り上げ、称賛することが大切である。
- デートDVを例として扱うが、デートDVの学習にとどまらず、人権感覚育成のための視点である「参加・参画」にせまる学習となることを意識する。
- ロールプレイがおもしろ半分にならないように、教師がねらいをしっかりとつとともに、生徒にそのことを明確に伝える。
- ロールプレイ終了後は、お互いに「〇〇さん、A（またはB）の役は終わりました。ありがとう」と、必ず生徒の名前を呼ばせ、役割が終了したことを伝え合うようにさせる。このことにより、役割と本人とをしっかりと切り離すことが大切である。
- 児童虐待など様々な人権問題には、相手を尊重せずに一方的に力で支配しようとする共通した考え方があることを押さえておく。

### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
15分	<p>1 学習内容 (手順) の確認</p> <p>2 ロールプレイ① T あなたが普段目玉焼きにかける調味料名を【 】に、ペアの人がかける調味料名を ( ) に書き、会話文をA・Bの役割を交代しながら演じましょう。 T A・Bそれぞれの立場を演じてみての感想をペアで話し合い、発表しましょう。 S Bの立場になると、とても嫌な気持ちでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを配布し、本時の学習内容について説明する。</li> <li>最初に注意事項を読み上げることで、ペアワークが円滑に進むようにする。</li> <li>発表内容について「そうだね」や「同じ意見の人はいるかな」といった肯定的な受け止め方の例を示すことで、今後の活動において、意見を出しやすい雰囲気をつくる。</li> </ul>
30分	<p>3 ロールプレイ② T 付き合っている恋人同士という設定のもとに、会話文をA・Bの役割を交代しながら演じましょう。 T A・B両方の立場を演じた感想をペアで話し合い、発表しましょう。 S Aの立場になると相手を支配しているような気持ちになる。</p> <p>4 ロールプレイの主張のまとめと感想発表 T 課題1のAの主張のまとめを参考に、課題2のAの主張をまとめ、ワークシートに記入しましょう。 S 「恋人同士なら、『部活動』よりも『デート』を優先すべきだ。」 T 課題2のA・Bの発言について、どのような感想をもったのか発表しましょう。 S Aは自分のことしか考えていない。 S Bはもっと自分の意見を強く言うべきだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異性間、同性間どちらの場合もありうることを説明し、性別に関係なくペアを作るように指示する。</li> <li>役割演技は終わったことを伝えることで、今後の活動で会話文について客観的に考えることができるようにする。</li> <li>課題2のAの主張をまとめさせることで、相手の考え方や立場を認めず、相手を思い通りに支配しようとしていることに気付かせる。</li> <li>AだけでなくBの発言についても考えさせることで、課題5につなげる。</li> <li>Aの言動が、Bの部活動への取組を妨げていることを説明することで、お互いを尊重しない関係は、物事に意欲的に取り組むことを妨げていることに気付かせる。</li> </ul>

	<p>S 自分も、友達に自分の都合を押し付けてしまうことがあったかも。</p> <p>T 課題2のAからBへの行為を一般的に何というか知っていますか。</p> <p>T デートDVと言います。ワークシートに要点をまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ デートDVについての説明例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恋人間で暴力により、相手を思い通りに支配することをデートDVと言います。暴力には、殴る・蹴るなどのほか、言葉の暴力、メールをチェックするなど様々な形があります。</li> <li>お互いが尊重された対等な関係では、デートDVは起こりません。</li> <li>課題2のA・BもデートDVの関係になります。</li> </ul> </div> <p>5 話し合い</p> <p>T 課題2をどのように直すとお互いを尊重した会話文になるでしょうか。ペアで考えてワークシートに記入し、発表しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【例】</p> <p>A：今日学校が終わったら行きたいところがあるんだ。付き合ってよ。</p> <p>B：無理だよ。今日は部活があるから。</p> <p>A：部活か。出ないとまずいの？</p> <p>B：今、部活に燃えているから練習したいんだ。</p> <p>A：そうか。じゃあまたにしよう。</p> <p>B：ごめんね。部活が休みの日はつきあうから。</p> <p>A：ありがとう。部活がんばれよ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デートDVについての説明をすることで、課題2のA・Bは「デートDV」の関係であることを理解させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで話し合った結果を全体で共有させることで、お互いを尊重した会話文とはどのような会話なのかを考えさせる。</li> <li>・A・B両方の考えや立場が尊重されている会話文を作ることができるように、机間指導を行い、適切な声掛けを行う。</li> </ul>
<p>5分</p>	<p>6 振り返り</p> <p>T 今日の授業を通して感じたことや考えたことを発表しましょう。</p> <p>S 思ったことをすぐに口に出すのではなく、考えてから話すことが大切だと感じた。</p> <p>S 自分も、普段から相手の考え方や立場を尊重した言動を心がけたい。</p>	<p>◎普段からお互いを尊重する言動が大切であることを理解させるために、ねらいに沿った感想を取り上げ、称賛する。(価値・態度)</p>



## IV 資料

## (1) ワークシート

氏名 ( )

## □ 課題1 何をかけるの？

- 次の会話文をA、Bの役割を交代しながら演じてみましょう。

〔注意〕

- ・ ( ) には相手が、【 】には自分が普段目玉焼きにかけている調味料名を入れる。
- ・ 調味料が同じ場合は、Bの役割をする人が別の調味料名に変えて行う。
- ・ 役割演技が終わったら、お互いに「○○さん、A (B) の役は終わりました。ありがとう」と言う。

A : 目玉焼きに ( ) をかけるの？

B : そうだよ。

A : ふつう【 】 だろ！

B : ( ) もおいしいよ。

A : いや、みんな【 】 だよ！

B : そうなんだあ……。

A : おいしそうには思えないよ！ ありえないよ！

## □ 課題2 デートの誘い

- 次の会話文をA、Bの役割を交代しながら演じてみましょう。

〔注意〕

- ・ 役割演技が終わったら、お互いに「○○さん、A (B) の役は終わりました。ありがとう」と言う。

A : 今日学校が終わったら行きたいところがあるんだ。付き合ってよ。

B : 無理だよ。今日は部活があるから。

A : えー。部活さぼればいいじゃないか。何だよそれ。

B : 部活は頑張りたいてっていったじゃない。

チームの人にも迷惑かかるし、さぼれないよ。

A : はあー？ 何それ。部活とデートとどっちが大事なの？

B : そんな言い方って。

A : 練習したって無駄だよ。

付き合ってるんだから誘ったら断るなよ。

B : (困りきった様子で) わかったよ。今日は部活行かないよ。

## □ 課題3 …すべき？

- 参考にならって（ ）に適切な語句をおぎない、課題2のAの主張をまとめてみましょう。

〔参考：課題1・Aの主張のまとめ〕

・目玉焼きにかける調味料は、【 】であるべきだ。

〔課題2・Aの主張のまとめ〕

・恋人同士なら、（ ）よりも（ ）を優先すべきだ。

## □ 課題4 デートDVとは？

恋人間で（ ）により、相手を思い通りに（ ）することをデートDVといいます。

暴力には、殴る・蹴るなどのほか、（ ）の暴力、（ ）をチェックするなど様々な形があります。

お互いが（ ）された対等な関係ではデートDVは起こりません。

## □ 課題5 こんな会話ならいいな

- 課題2を、お互いを尊重した会話文になるように直してみましょう。

**A：今日学校が終わったら行きたいところがあるんだ、付き合ってよ。**

**B：無理だよ。今日は部活があるから。**

**A：**

**B：**

**A：**

**B：**

**A：**

※A・Bの会話は続くところまででよいです。

## V 出典・参考資料

- 「デートDV防止啓発ハンドブック」（平成25年3月）  
埼玉県・埼玉県教育委員会

## <事例編をさらに効果的に活用するために>

### 1 資料編について

本書では、事例編の各プログラムをさらに効果的に活用して、児童生徒の人権感覚を育成できるように、次のページから資料編を掲載しています。資料編の各種資料を活用しながら事例編を実践することで、人権感覚育成の効果を一層高めることが期待できます。

### 2 資料編の構成について

#### (1) 人権教育全体計画及び年間指導計画への位置付けについて

「人権感覚育成プログラム」の活用を人権教育全体計画や年間指導計画に位置付けた参考例を掲載しています。教科等は、小・中学校は平成29年3月告示の学習指導要領に、高等学校は現行及び平成30年3月告示の学習指導要領に対応しています。

「人権感覚育成プログラム」の計画的な実施にあたり、年間指導計画等の位置付けについて、参考資料とすることができます。

#### (2) 人権感覚育成プログラムの活用対応表について

「人権感覚育成プログラム」の学校教育編は、これまで平成20年3月及び平成25年3月に、それぞれ発刊しています。ここでは、本書の事例編も併せて、三つの「人権感覚育成プログラム」の全てのプログラムについて、改めて校種別・学年別に整理して掲載しています。

合計80のプログラムが一覧になっていますので、教科等で利用可能なプログラムを選択し、年間指導計画に位置付ける際に、索引として利用することが可能です。

#### (3) 「埼玉県版人権学習に係る質問紙」の活用について

九つの「人権感覚育成のための視点」を基準に、児童生徒の人権感覚の育成状況を把握することができる「埼玉県版人権学習に係る質問紙」について、その調査方法、集計、結果の活用などを掲載しています。

ここでは、「人権感覚育成プログラム」をはじめとした人権教育を計画的に実施することにより、児童生徒にどの程度の効果があったかを確認し、人権感覚育成に向けた指導改善につなげていく流れを確認することができます。

#### (4) 教職員の人権感覚のチェックポイントについて

人権教育の視点に立った「授業づくり」「環境づくり」の工夫を進めていく際の主なチェックポイントの例を掲載しています。

校内研修等 dengan こうした振り返りを行うことによって、日々の教育活動を見つめ直す契機とし、具体的な指導改善に生かしていくことができます。